



【目指す学校像】
学びと感動と温かさのある学校

【教育目標】

- 1 自主・自学の向上心を持ち、真剣に学習する生徒
- 2 礼節の中に思いやりを持ち、互いに認め合う生徒
- 3 心身を鍛え合い、たくましく生きる生徒

【校訓】 『親和一誠』 『自発協力』

塩竈市代表の走りを見せた

県駅伝競走大会



9月30日(金)に宮城県駅伝競走大会が宮城県総合運動公園グランディ21を会場として開催されました。県内各地区を勝ち上がってきた34チームで争われ、塩竈市の代表として市駅伝大会2連覇を果たした第二中学校の男子チームが出場しました。

第1区を3位で第2区に襷をつなぎ、第2区以降も熱い走りを見せてくれました。校内でも生徒達は休み時間に伝えられる速報に耳を傾け、大きな拍手や歓声が響き選手の活躍に固唾(かたず)を飲みながら応援をしてい

ました。選手と校内で応援する生徒が一体となって燃えた瞬間でもありました。最終結果は14位となりましたが、市駅伝大会の記録を2分以上上回る好記録を残し、昨年度の25位から大きく成績を伸ばしました。これも夏休みから毎日熱心に練習に取り組んできたこそ得られた成果といえます。監督の熊谷教諭は「県大会は、3年生の選手だけで大会に臨んだ。生徒達は思った以上の大健闘でした。」と選手を讃えました。

来年に向けての襷を2年生が受け取り、更なる活躍を期待しています。

なお、第1区を走った大柳達哉君が区間3位となり、区間賞を受賞しました。



響け！ 僕らの歌声あふれる思いを歌にのせて

校内合唱コンクール

10月14日(金)多賀城市文化センターを会場として校内合唱コンクールが行われました。

実行委員長の相澤さんの挨拶に始まり、各学級ともに一人一人の個性を生かした歌声を見事に一つにまとめ上げることができ、自分たちの手で創り上げたすばらしい合唱を多くの皆様に披露することができました。

生徒達は新人体育大会終了後の9月26日(月)からこの日に向けて各学級の練習を開始しました。3年生は最後の合唱コンクールを最高の形で締めくくりたいという強い思いが練習からひしひしと伝わってきました。2年生は昨年の経験を生かしながら自分たちの合唱を創ろうとしている姿が見られました。1年生は初めての合唱に戸惑いながら、上級生の練習を見学したり、上級生に教えてもらったりしながらと練習

実行委員長の言葉

3年 相澤 潤奈

今日は、二学期最大の行事である校内合唱コンクールです。体育祭と並んで私たちが最も力を入れて取り組む行事です。練習期間には学校のあちらこちらで素敵な歌声がたくさん聞こえてきて、皆さんの頑張りを感しました。

1年生は初めての合唱コンクールで、緊張すると思いますが、元気な歌声を会場一杯に響かせて下さい。

2年生は去年と比べてずいぶん難しい曲に挑戦したと思います。来年につながるいい演奏をして下さい。

私たち3年生は、中学校最後の合唱コンクールです。これまでの経験を生かし、悔いの残らないよう、最高の歌声を聴かせましょう。今日は学級の心をつ一つにしたハーモニーを互いに鑑賞し、それぞれの学級の良さを讃え合ってほしいと思います。

すばらしい一日になることを期待します。

に取り組みました。どの学級も、上手いかわなくて何度も話し合いを重ねたり、ぶつかり合ったりしました。当日の本番に至るまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。しかし、全てはこの合唱コンクールでグランプリを取ろうという熱い思いがあればこそと言えるでしょう。1週間前に行われた学年合唱から大きく成長した姿を見ることができました。

講評の中で、審査員を務めていただいた水口先生（二華高等学校）から、「素晴らしい合唱を聴かせていただいた。学年の発達段階に応じたいい声を聞くことができた。」などの言葉をいただきました。生徒達に対する沢山の賛辞をいただき大いに励まされました。生徒達の緊張感がみなぎる会場で発表された審査結果は次のとおりです。

平成28年度 校内合唱コンクール各賞の紹介							
グランプリ	…	3年1組	優秀賞	…	1年2組	2年3組	3年1組
優良賞	…	1年1組	1年3組	1年4組	2年1組	2年2組	3年2組 3年3組
指揮者賞	…	1年2組	坪江 輝士	2年3組	鈴木 海翔	3年1組	岩渕 祥平
伴奏者賞	…	1年3組	小野 真琴	2年1組	佐々木里紗	3年1組	三浦 真実
表紙絵賞	…	水口 莉那					
ポスター優秀賞		進藤 尚由己	佐藤 愛月	高木 宏彰			



11月は児童虐待防止推進月間です

さしのべて あなたのその手 いちはやく 【平成28年度標語】

11月は厚生労働省、内閣府が主唱する「児童虐待防止推進月間」です。児童虐待の早期発見、予防のための啓発月間となっています。

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、特に、子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況において、児童虐待問題は社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっており、虐待の発生予防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要です。

平成16年度から児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施されます。

お知らせ

宮城県総合教育センターでは、土曜講座として右の講座を一般に開放しています。興味のある方は教頭までお尋ねください。*申し込み締切りは11月4日までとなっています。

講座名	内容	定員	時間帯
子育てが楽しくなるコミュニケーション講座	子育てに役立つ「学ぶ土台づくり」についての紹介と親子が笑顔になれるコミュニケーションを演習を交えて学ぶ	30名	9:00~12:30
特別支援教育公開講座	講義「発達障害の子どもたちを支える～震災5年経過：宮城の親や先生へのメッセージ」 講師：今 公弥 先生	200名	12:30~16:00